

# 小動物の命守ろう

儀間蘭々さん(東江小6年)が手描き看板



イボイモリなど小動物事故防止のために看板を描いた儀間蘭々さん(右から2人目)とその家族—名護岳林道

## 名護岳林道に2枚

【名護】名護岳林道で小動物の事故をなくそうと、やんばる自然館代表で森林インストラクターの上野和昌さんが提案し、県指定天然記念物のイボイモリを描いた看板2枚が9月から名護岳林道に設置されている。

## 優しい運転願い

自分の庭のようにやんばるの山を熟知している上野さんによると、名護岳林道は県道18号が整備されて以来、休日には家族連れでにぎわい、平日でも森林を散策するために通過する車両が多くなつた。

そのため小動物の事故が増える可能性があり、名護岳林道に看板を設置したいと考え、名護博物館に協力を依頼した。上野さんの提案に、同博物館を友達とよく訪れる東江小学校6年生の儀間蘭々さんが快く引き受けた。看板を描いた儀間さんは「イボイモリの小さな命が交通事故に遭わないよう、心を込めて描きました。この山道を通る運転手の皆さん、小さな命も生きています。優しい運転での走行よろしくお願ひします」と優しい口調で訪れる人への協力を呼び掛けた。

(宮城良勝通信員)

(2011年11月17日 24面)

☆みんなの学校や通学路に看板を立てるとしたら、どこにどんな看板を立てるかな？話し合ってみよう。

年 組 名前